

広域災害でリハ職は 何ができるのか？ 何をするのか？

四季の勉強会～春の陣～「痛み」が大盛況に終わり、患者様の病態の捉え方にも変化があったのではないのでしょうか。興味深い内容となった 四季の勉強会～春の陣～に引き続き、四季の勉強会～秋の陣～を下記の日程にて開催致します。

今回の勉強会では、東日本大震災の際に被災地で活動されていた、長崎リハビリテーション病院の淡野義長先生を講師にお招きします。今回も他部門からはもちろん院外からの参加もお待ちしております。ご多忙とは存じますが多くの皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

日時：平成25年**10月11日(金)** 17:30～

場所：愛宕病院3病棟1階 リハビリテーション室

講師：長崎リハビリテーション病院 作業療法士
災害リハビリテーションコーディネーター研修会 委員
東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体

淡野 義長先生

講演内容

一昨年に起きた“東日本大震災”以降、本県でも南海地震に対する対策が早急に進められています。大規模災害のリスクを抱えた地域である高知県において、万一の時に個人がその時の最大限のパフォーマンスを発揮できるように日頃からシミュレーション、討議、準備を行うことは重要です。

今回は、震災後の被災地での活動を基に、広域災害におけるリハビリ専門職の役割について話をして頂きます。

○問い合わせ 電話番号：088-823-3301(内線3110)

E-Mail：reha@atago-hp.or.jp

リハビリテーション部 森友樹・加藤大策までご連絡下さい